

さいたま市で学校キャラバン

魅力実感、「建設業を夢に加えて」

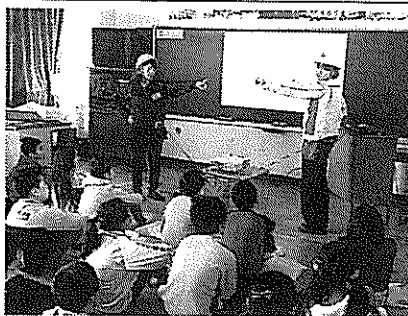
協進略戦 報推進協 広報推進協

国土交通省が建設業団体などと組織する建設産業戦略的広報推進協議会(事務局・建設業振興基金)は、建設産業の魅力向上と入職促進につながる情報を発信する「学校キャラバン」を21日にさいたま市立大谷口小学校で開いた。6年生94人が参加。体験イベントなどを通じて、児童たちに建

設業の社会的な役割やものづくりの楽しさ、素晴らしさを伝える場となった。キャラバンは授業形式による建設業の紹介と、くぎ打ちや作業支援用ロボット

の装着など4種類の体験・展示で構成。講義はハウスメーカーの女性技術者でつくる「じゅうつたく小町」のメンバーが1日の仕事の流

れや住宅建設の工程などを説明し、「建設の仕事皆さんの夢に加えてほしい」と呼び掛けた。続いて振興基金の担当者が「みんなの夢と建設業」をテーマに授業を行い、「建設業は皆さんの夢と生活につながっている」と語った。体験・展示ブースには関東地方整備局、J M、大和



朝礼の服装点検を紹介。児童にも実践してもらった。職人の手ほどきを受けながらかんがけ体験⑤

ハウス工業、アキュラホームの4者が出展。関東整備局は地震や津波が起きる仕組みや、自助・共助・公助の大切さなどを伝えるパネ

りすることで最新技術を紹介。大和ハウスは床下を点検する小型ロボットの操作や作業支援用ロボットの装着を体験してもらった。アキュラホームのブースでは職人の手ほどきを受けながら匠(たくみ)の技にチャレンジ。くぎ打ちやかんがけなど貴重な体験の場となった。

児童からは「昔から続いている技術に驚いた」「これから建設業が気になる」などの感想が寄せられた。閉会式で国土交通省の木村実土地・建設産業局建設市場整備課長は「建設業にはいろんな仕事があり、皆で一致団結してチームワークで仕事をしている。建設業を身近に感じ、興味を持ってもらいたい」と呼び掛けた。

児童からは「昔から続い

魅力、素晴らしきPR

大谷口小学校でキャラバン

報協 広協 戦略的推進

国土交通省や建設業団体で構成する「建設産業戦略的広報推進協議会」は21日、さいたま市立大谷口小学校の6年生94人を対象に、学校キャラバンを開催し、建設業の役割や仕事を学ぶ講義、各種体験を通じて、建設業の役割や素晴らしさ、魅力などをPRした。

講義では、女性技術者による講話として、家づくりの流れや監督の仕事の説明した。児童らに話を聞いてもらうだけでなく、ヘルメットや安全帯も装着し「ヘルメット良



また、大和ハウス工業は、狭小空間点検ロボットの操作のほか、重いものも軽々と持ちあげられるロボットスーツ装着の体験を提供。アキユラホームは、トンカチやノコギリ、かんなを使った大工体験Ⅱ写真Ⅱを提供し、初のかんながけに真剣な眼差しで取り組んだ。関東地方整備局は、命の道を考えてもらうパ

ネルや大地震に備えるパ
ネルなどを展示した。
閉会時に、国土省土地
建設産業局の木村実建
設市場整備課長は、今回
体験した技術や技能、あ
るいはドローンやロボッ
トのような最新技術も駆
使しながら「チームワー
クで仕事をするのが建設

業だ」と強調。今後も、
どのように建設されるの
か「興味をもってもらい、
建設業を身近に感じても
らえることがたい」と、

児童らに呼び掛けた。
なお、同キャラバンは
建設産業の担い手の確
保・育成につながる広報
活動の一環で、14年度か
ら展開。今回の開催によ
り小学校では通算2回
目、学校キャラバン全体
としては通算13校目と
なる。

建設産業戦略的広報推進協

小学生が仕事体験

学校キャラバン開催



建設業団体や国土交通省などで行く建設産業戦略的広報推進協議会は21日、さいたま市の大谷口小学校で、建設産業の魅力を発信する「学校キャラバン」を開いた。同小の6年生94人が参加し、カンナ掛け「写真」や点検ロボットの操作などを体験。建設業の社会的な役割を訴える講義も受け

た。

学校キャラバンは、協議会が建設産業の魅力発信と若年層の入職促進を目的に2014年度から行っている。大谷口小で通算13回目の開催となる。

21日のキャラバンでは、同小の体育館を利用し▽ドローン・バーチャルリアリティ・3Dプリンター(出展・J M)▽狭小空間点検ロボット操作・ロボットスーツ装着(同・大和ハウス工業)▽大工体験ブース(同・アキュラホーム)の体験ブースを設けた。

また、関東地方整備局による、建設産業の社会的役割をアピールするパネル展示、建設業振興基金による、建設業の役割・職種に関する講義も行われた。

閉会に当たり、国土交通省土地・建設産業局の木村実建設市場整備課長は「みなさんの身の回りに建設業があり、生活を支えてくれている。日常生活で工事現場を通りかかった時、きょう見たことを思い出ししてもらえたらうれしい」と参加した小学生に呼び掛けた。